

法学部A方式Ⅰ日程・文学部A方式Ⅱ日程・経営学部A方式Ⅱ日程

2 限 選択科目 (60 分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～17	日 本 史	18～28
世 界 史	29～38	地 理	39～47
数 学	48～49		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験開始後の科目の変更は認めない。
4. 数学は志望学部・学科によって解答する問題が決まっているので注意すること。

科目	志望学部・学科	解答する問題	その他注意事項
数学	法学部(国際政治学科)	{Ⅰ}, {Ⅱ}, {法学部Ⅲ}	・ 解答を導く途中経過も書くこと。 ・ 解答はおもて面に記入すること(裏面は採点の対象にならない)。
	文学部(英文・史・心理学科)	{Ⅰ}, {Ⅱ}, {文学部Ⅲ}	・ その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
	経営学部(経営戦略・市場経営学科)	{Ⅰ}, {Ⅱ}, {経営学部Ⅲ}	・ 定規、コンパス、電卓の使用は認めない。

5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

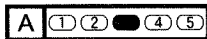
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

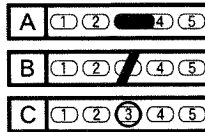
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



} 枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(数 学)

受験学部により、解答する問題は以下の通り。

法学部は〔Ⅰ〕、〔Ⅱ〕、〔法学部Ⅲ〕

文学部は〔Ⅰ〕、〔Ⅱ〕、〔文学部Ⅲ〕

経営学部は〔Ⅰ〕、〔Ⅱ〕、〔経営学部Ⅲ〕

(なお、指定された問題以外は採点の対象としない。)

〔Ⅰ〕 1 辺の長さが 1 の正四面体 ABCD において、辺 CD 上に点 P をとり、線分 CP と AP の長さをそれぞれ t および l とおく。また、 $\triangle ABP$ の面積を S とおく。

(1) l を t であらわせ。

(2) S を t であらわせ。

(3) S の最小値を m とおくと、 $S = \frac{\sqrt{5}}{2} m$ をみたす t の値を求めよ。

〔Ⅱ〕 袋 A には赤球が 1 個、白球が 2 個、袋 B には赤球が 2 個、白球が 1 個、それぞれ入っている。

(1) A, B からそれぞれ 1 個ずつ球を選んで交換する操作を 1 回行う。この操作のあとで、A の赤球が 1 個となる確率を求めよ。

(2) A, B からそれぞれ 1 個ずつ球を選んで交換する操作を 2 回行う。この操作のあとで、A の赤球が 3 個となる確率を求めよ。

(3) A, B からそれぞれ 1 個ずつ球を選んで交換する操作を 2 回行う。この操作のあとで、A, B の両方の袋に赤球が入っている確率を求めよ。

〔法学部Ⅲ〕および〔文学部Ⅲ〕

連立不等式

$$\begin{cases} x^2 + y^2 - 36 \leq 0 \\ y \geq -\frac{1}{2}x + 3 \\ y \geq -3x + 6 \end{cases}$$

があらわす領域を図示せよ。また、点 (x, y) がこの領域を動くとき $4x + 3y$ の最大値と最小値を求めよ。

〔経営学部Ⅲ〕

放物線 $y = \frac{3}{4}x^2 - \frac{3}{2}(a+1)x + 3a$ についてつぎの問いに答えよ。ただし、 a は $2 \leq a \leq 5$ をみたす実数の定数とする。

- (1) この放物線と x 軸とで囲まれた部分の面積 $S(a)$ を求めよ。
- (2) $S(a) - 12a$ のとりうる値の範囲を求めよ。